

「深紅の大優勝旗」持ち帰る

甲子園出場 光星高が本社訪問

第105回全国高校野球選手権青森大会で、2年連続12度目の優勝を果たした八戸学院光星高硬式野球部のメンバーは31日、デーリー東北新聞社を訪れた。高校球児の聖地である阪神甲子園球場での熱戦を前に、青森県勢初の「深紅の大優勝旗」を持ち帰るチームになると力強く宣言した。

（桑田友人）

仲井宗基監督と中澤恒貴主将20人、中村良寛校長らが来社をはじめとする優勝メンバー。デーリー東北ホールで本



甲子園での意気込みを披露する中澤恒貴主将（右から2人目）
＝31日、八戸市のデーリー東北ホール

社員から花束を受け取り、広瀬知明社長と懇談した。仲井監督は「気の抜けないトーナメントだった。県内のレベルは年々高くなっていく。青森大会を振り返ると、全国の予選で常連校が敗れている状況に触れ、「波乱ではなく実力で優勝したい」と力を込めた。

中澤主将は「県代表として恥じないプレーで甲子園を勝ち抜き、優勝旗を青森に持ち帰りたい」と意気込みを披露した。

これに対し、広瀬社長は「決勝で敗れた工大一高をはじめ、残り47チームの思いを受け止め、甲子園で悔いのない戦いをしてきてほしい」と激励した。

メンバーは8月1日に開催。全国大会は3日に組み合わせ抽選会を行い、6日に開幕する。

CFで遠征経費の支援募る 目標200万円

第105回全国高校野球選手権での初優勝を目指す八戸学院光星高（中村良寛校長）は、球児や応援隊の遠征経費の一部をクラウドファンディング（CF）で募っている。支援額に応じ、選手からのメッセージなどを受け取ることができる。

同校によると、阪神甲子園球場での1試合当たりに必要な経費は、交通費や宿泊費、応援隊の球場入場料などで約2千万円。CFでは支援総額200万円を目標としている。

支援額は5千円、1万円、3万円、5万円、10万円のいずれかから選択。5千円は選手のメッセージ付きメール、10万円はメールの他にメッセージ動画と記念ボール、直筆の手紙、サイン入り写真がもらえる。

CFのサイトは「CAM PFIRE」。詳細の確認と申し込みはQRコードで。

（桑田友人）

